

「にゅ～'S」

N:西日本連合、Y:ユース、U'S:ユニオンの連合体

発行日:2017年4月24日

第21号

発行:JR西日本連合青年女性連絡会

JR西日本連合から10名が参加！

3月24日（金）～25日（土）にJR連合主催「第16回青年女性役員研修会」が、東京都内にてJR連合の各エリア連合の参加者とともに『民主化闘争』をテーマに開催されました。

1日目は、JR東労組（JR総連）による2つの強要事件「三鷹電車区事件」と「浦和電車区事件」を題材に動労型労働運動（積極攻撃型組織防衛論）の怖さについて学びました。冒頭に松岡会長より「JR連合の民主化闘争の歴史」について講義を受けました。

研修会には、両事件の被害者である佐藤さんと吉田さん（DVD出演）にご参加いただいて、当時の出来事をJR連合としてサポートしてきた荻山副会長（現JR西労組執行委員長）と菅野特別執行委員（ジェイアール・イーストユニオン執行委員長）と共に振り返っていただきました。プライベートで他労組の友達と遊びに行つただけで、組合から裏切り者と罵られ組合脱退ばかりか、退職するよう強要され本当に辛い思いをしたとお聞きしました。労働組合は弱い立場の労働者を守る集団であるはずが、組合員を追い込むために団結していたという事実が現実にあったことだと知り衝撃を受けました。

その後、JR東日本の車両基地に移動して、JR連合とジェイアール・イーストユニオンの活動の正当性を訴えるためビラ配りを行いました。



やっぱり怖いJR総連の思想



労使関係はどうあるべきなの？

組合の歴史を学ぶ事ができました！

明るく！楽しく！元気よく！
もっともっと仲間の輪を広げよう！

2日目は、前日に学んだことを受けて、私たち青年女性連絡会世代が民主化闘争についてできること。在るべき労使関係についてグループディスカッションを行いました。組合に無関心な人を作らないために労働組合の存在意義をしっかりと伝えていきたいと多くの参加者から意見がありました。また、私たち青年女性連絡会は労働運動の入口として「仲間作り」のため魅力的なレクリエーションや学習会の開催などを企画する重要性を改めて学びました。

最後に、私たちJR西日本連合は誤った労働運動の台頭を許してはなりません。青年女性連絡会として過去の過ちを学び、私たちには何ができるのか各単組でしっかりと議論し、自由で民主的な労働運動を実践していきましょう！

